



お子さんの1番のエネルギー源。I(愛)メッセージで伝えよう ❤️

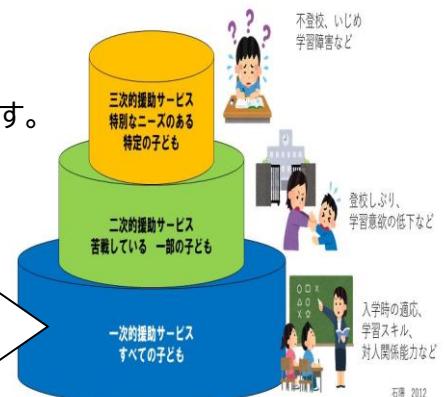
4月は、新しい環境に適応しようと、緊張しながらも一生懸命がんばっている姿が見られました。5月は少し緊張が緩んで自然でのびのびとした表情が見られます。先日ニュースに流れていた墨絵体験の子供たちの表情はとてもやわらかく素敵でほほえましかったです。また、先生方がひとりひとりにきめ細かく支援している姿をお見受けし、頭が下がる思いです。また東湊の素直で元気な子供たちの姿を見て、おうちの方が愛情いっぱいに支えていらっしゃるのだなあと感じたりもします。子供たちのがんばりのエネルギーを持続させるためには、①人と比べない②あたり前のことでも、その子なりの小さな成長を見つけて伝える③I(愛)メッセージで伝える。例「前は自分で時間までに準備できなかっただけど、いわれなくても遅れずにできるようになったね。おかあさんすごくうれしいよ。」④学年に応じたスキンシップ(ハイタッチ、ハグ等)もプラスして④同じことでも、タイミングがよければ、何度も言って価値づけして定着させていきましょう。少し大きくなってちょっと生意気になつたなあと思っても、子どもは、まだまだ、おうちの人の愛情表現(認めやスキンシップ)を求めています。

*認め:アドバイス=7:3(6:4) 程度でないと、アドバイスが有効に働くかないそうです。

教育プログラムを実施中。ワクチン効果や避難訓練効果

人は気のゆるみやわがままな部分が出ることがあります。うまく処理しないとトラブルや気持ちの落ち込みも長引きます。人は悩みや失敗から学び、解決していくことで、大きく心が成長していくものです。昔は自然に身についた子どもたちの人間関係、問題解決能力(コミュニケーション能力)ですが、現代は少子化やゲームなどの普及で難しくなってきています。それが近年の問題の複雑化や深刻化を招いています。そこですべての子どもに起こりえる心の不調や不適応やトラブルの未然防止や早期発見や早期の支援をおこなうことを目的とした心理教育プログラムに焦点があたるようになりました。図の➡の部分に当たります。私も、長年やってみて、このプログラムの積み重ねは、重症化を防ぐワクチンのような、避難訓練のような効果があると実感してきました。地震の影響は薄らいでいくものの、何年たっても0にはならないことも分かっています。すべての児童を対象に、SOSの出し方、幸せになる心の持ち方、人間関係作り、コミュニケーション能力向上、問題解決能力、ストレス対処に関するプログラム等を実施中です。また、お子さんに「どんなことしているの?」と聞いてみて下さね。

学校心理学における心理教育的支援サービス



6月、7月、9月の来校日

6月 13日 (金) 8:30~14:30

7月 4日 (金) 8:30~14:30

9月 12日 (金) 8:30~14:30

*私的なことなのですが、6月後半に3人目の孫が出産予定です。

そのため大谷選手のように産休リストに入らせていただきます。

そのため1学期はあと2回の来校となります。

御迷惑をおかけしますが、なんなりとご相談くださいね。

